

ごみがこれだけ減りました
グラフと年表

特集 やればできた! ごみ減量20%までの道



ごみ減量の実績値が、平成22年度末で20・1%となり、目標の20%を達成することができました。

とはいえ、この数字は、家庭ごみと事業系ごみの総量です。これまで広報などで発表してきた数字は、家庭ごみ限定のもので、正確に記しますと、家庭ごみ17・3%、事業系ごみ25・5%、これらの合計が「ごみ総量20・1%」なのです。

家庭ごみだけをみれば、目標には達しませんでした。が、事業系ごみとの合算で、なんとかクリアできました。市民の皆さんの環境意識レベルの高さに、私は深く感謝と敬意を表します。

しかし、ごみ減量への取り組みが、これで終わったわけではありません。私は、今回の選挙で「ごみ減量30%を新目標とし、ごみゼロ社会を目指します」をマニフェストに掲げました。本市が環境首都と呼ばれるように、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



安城市長 神谷 学



次の目標は「ごみ減量30%」

環境クリーンセンターに運ばれてくる「燃やせるごみ」は、年間約5万トン。そこから、焼却灰が約6500トン発生し、溶融処理や埋立処理をしています。「燃やせるごみ」は、燃やしたら終わりではなく、その後発生する灰の処理まで考えていか

ひろげようごみ減量の輪

すでにごみ減量を実践している人は、「これ以上燃やせるごみを減らすなんて無理!」と思われるでしょう。

しかし、その一方で、ごみ減量にほとんど取り組んでいない人がいるのも事実です。私たちは、「これまでごみの減量をやってこなかった人」を減らすことで、よりごみ減量を進めることができますと考えています。

ぜひ、近所の人や友人に声をかけていただき、一人でも多く「ごみ減量に取り組む人」が増えるよう、ご協力よろしくお願ひします。



マイバッグがあればレジ袋いらず!

- 4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の徹底を
- リフューズ(断る) ごみになるものは家に持ち込まない
- レジ袋を断る
- 過剰包装を断る

- リデュース(減らす) ごみにしない・させない
- 調理くずがない料理に努める
- 食べ残しをしない
- 家具やかばんなどが壊れても修理して長く使う
- 着られなくなった服をリフォームして、また着られるようにする

- リユース(再使用) 使ったくれる人に譲る
- 友人や知人など、使ってもらえる人を探して譲る
- フリーマーケットやバザーに出す
- リサイクルショップやインターネットオークションなどで売る

- リサイクル(再資源化) 再び資源として活用する
- 生ごみは、庭に埋めたり、処理機器などを使ったりして自然にかえす
- 古紙・古着・プラスチック製容器包装・ペットボトルなどを分別する

- 生ごみ処理機器補助制度の利用を
- 家庭での生ごみ処理機器の購入に補助金を交付します。詳しくは、本紙4月15日号をご覧ください。

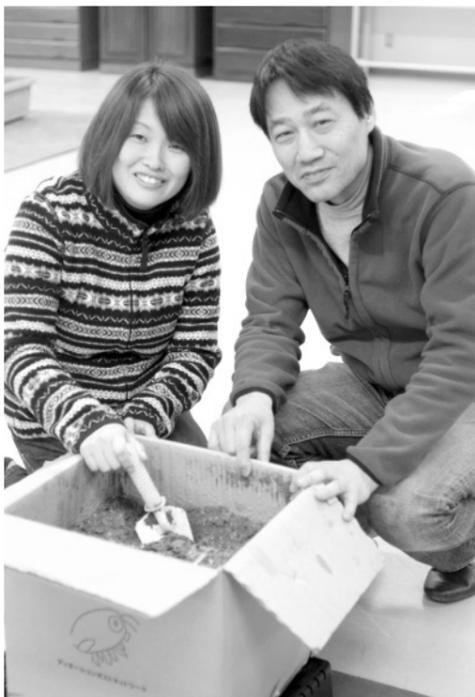


子ども会・老人会も集団資源回収に協力

■ダンボールコンポスト講習会に参加を
うまく使うコツと、仕組みを説明します。また、必要な道具がそろったスターターキットを配布します。

■紙ごみの分別を
リサイクルステーション、集団資源回収・ごみステーションを活用してください。

ごみ減量、やってみよう♪



仲家浩司さん、美奈子さん(東栄町)

ダンボールコンポストを使ってみました

自宅のプランターで花を育てています。以前は、花植え用の土をホームセンターなどで購入していましたが、手間で無駄な感じがしていました。そんな時、広報にダンボールコンポストの特集が。土が再利用できることを知り、ダンボールコンポスト講習会へ

参加することにしました。

講習会では、講師のやさしい指導もあり、自信を持って始めることができました。ダンボールコンポストは、家庭の生ごみを入れるだけなので、とても簡単。コンポスト内、魚の骨などがきれいに無くなってしまうのには感動しました。生ごみ処理もできるし、たい肥も作れるし、一石二鳥ですね。プランターの土を買いに行く手間も省けました。これからも、楽しく続けることができそうです。

宮澤上枝さん(今池町)

無理せず楽しく取り組んでいます

ごみの分別を実践しています。燃やせるごみ、プラごみなど、専用のごみ箱を作り分別開始。初めは手間がかかるかと思いましたが、徐々に慣れてきて、今では生活の一部になりました。

市のリサイクルステーションも利用しています。一定の時間内で、自分の都合のよい時にごみ出しができるので、とても便利です。

ごみ減量の取り組みは、私だけでなく、家族全員で協力しています。特に、子どもたちはとても積極的。ごみ分別冊子



読んで勉強したり、効率よくごみ分別ができるような分別器を作ったりしているんですよ。また、近所の人や友人と情報交換するのも楽しいですね。工夫していることや新たな取り組みが参考になりますし、環境に対する意識も高まります。

今は、必要なもの以外は買わないようにしているので、家計にも地球にもやさしくなりました。これからも、無理せず楽しく続けていきたいと思っています。今後は、ダンボールコンポストにも挑戦したいですね。